



## 株式会社 i4 (アイフォー)

オリジナル繊維製品の企画、製造、販売を行う株式会社 i4 (アイフォー) は、2018年4月、本町二丁目の桐生新町重要伝統的建造物群保存地区（以下、重伝建地区）内に新たな拠点をオープンした。有鄰館前という好立地で、10月には本町通り沿いに巨大なウィンドーギャラリーを設け、自社ブランド「mon・e (モンエ)」の世界観を発信している。

i4はインターネット上に自社サイト「衣都 (いと) の工房」を開き、オリジナルデザインによるネクタイやマフラーなどのファッションアイテムを小ロットで製造・販売する。その製造工程は、桐生が持つ多様な繊維技術を活かし産地内で完結することで、職人による確かな品質と短納期を実現した。また、伝統技術「桐生織」によるオリジナルネクタイも扱い、プリントとは異なる素材感と高級感を表現し、さらに製品を通じて産地「桐生」の発信にも貢献している。

石橋進代表取締役が2014年に創業した同社は、「アイデア (発想)」、「イノベーション (革新)」、「インプレス (感動)」、「インパナトーレ (産地と市場を結ぶコーディネーター)」の4つの「i」が社名の由来。特に「インパナトーレ」は、世界をリードするイタリアの繊維産業では欠かせない人材及び機能であり、石橋氏は桐生のインパナトーレとしてユーザーと製造現場とを結び陰から産地を支えている。

そんな石橋氏が世界発信を目指す「mon・e」は「かわいい! × 伝統工芸」をコンセプトに、サンリオ・ハローキティをモチーフにした繊維製品や雑貨など展開する。新拠点の開設に伴い初めて装飾されたウィンドーギャラリーは、mon・eの着物に身を包んだマネキンが芸術の秋に絵を描くストーリー仕立て。ギャラリーの名のとおり、ブランドの世界観がアーティストックに表現され、今回はスタッフで画家の津久井ひとみさんが手がけた。今後、季節ごとに展示内容も変更予定という。近年、重伝建エリアでは工房やショップなどが続々と進出し、新しいものづくり文化が胎動している。ウィンドーギャラリーを携えたi4は、そんな歴史エリアにアートと季節感を加えてくれそうだ。

- 住所／桐生市本町2-5-6 ●電話／0277-46-8402 ●FAX／0277-46-8403
- 「衣都の工房」HP／<http://ito-no-kobo.jp/>
- 「mon・e」HP／<http://mon-e.pink/>



産地とユーザーつなぐインパナトーレ  
新拠点で発信するブランドストーリー